

令和6年度事業報告

社会福祉法人 みどり園
児童養護施設 みどり園

【運営理念及び基本方針】

みどり園は、昭和22年2月の設立以来、戦後の混乱した社会に取り残された子どもたちの養護に取り組んできた。当みどり園では『子どもの尊重と最善の利益』『職員の資質・専門性の向上』『地域の福祉の拠点としての推進』を運営理念として、子ども達の日々の生活援助を通して、子どもの権利や人権を擁護し、子どもたち一人ひとりの自立・自己実現を目指してきた。また毎年4月1日の辞令交付及びみどり園全体会の際、職員と子ども達の年度目標を発表し、想いを伝えるとともに、周知を行った。

<職員の目標>

1. 子どもは、みんなで、よく見る（子どもの変化に気付く）
2. 報・連・相（聞いてないので知りませんではなく、確認する）
3. DCAP サイクル=まずはやってみる(実行)

Do(実行) Check(評価) Action(改善) Plan(計画)

<チームみどり園>として「みんながよく見る」を職員目標として掲げてきた。職員一人ひとりが子どもとよく向き合っている姿はあった。しかし、雑務に追われたり、報・連・相が不十分なことからチームとしては機能不足な点もあった。子どもの話をよく聞くためには、粘り強く子どもと対峙する必要がある、職員間の協力が不可欠である。報・連・相の徹底とホーム担当と専門職との連携の在り方を再確立していく。

<子どもの目標>

1. 挨拶は元気よく、だれにでも
2. やさしさを忘れずに
3. 好き嫌いを少しでも無くし、健康に過ごそう

子どもたちの挨拶は、個人差とその時の気分で変わるので、反応を見て理解する必要があり、強要しないように心掛けた。高学年を中心に、習慣としてあいさつが出来るようになっている。外部からの来客等に対しては、まだまだ長い目で見ることがある。挨拶は生活の中で最も大切な事であり、今後も継続していく。子ども一人ひとり、やさしさはあるのだが聞く前に自己主張が強く、些細ではあるが暴言や暴力を目にすることが多かった。愛情や注意を惹きたい行動だとしても、適切な言動等が出来るようにするためには、日ごろの関係性が大切であると痛感した。今後も職員一人ひとりがこれまで培ってきた専門性（知識・技術・倫理）を活用して、継続して支援に取り組んでいく。

【子どもの権利擁護への取り組み】

子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」を保障することを基本とし支援にあたってきた。具体的な取り組みとして、「要望ポスト」を各所に設置しているほか、ホーム会議や子どもと施設長が直接対話できる場を定期的に設け、子どもが意見を表明できる場を設けると共に、子どもの権利委員会による子どもの意見や要望等の聞き取りを行った。子どもの様々な思いをどのように掬い上げ、支援にあたっていくのか、今後も検討し改善していく必要がある。また、子どもアドボカシーセンター熊本の定期訪問(月1回開催)により、子どもアドボカシーを導入しており、効果的に連携を図っていく。人権擁護のチェックリストを定期的に実施し、定期的な業務及び個々言動等の見直し及び改善を図った。

1. 組織体制

① 児童の入退所の月別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
現員	36	36	36	38(2)	38(2)	38)	41	41	41	41	41	41	
入所	3(1)			2(2)									5(3)
退所	8(1)												8(1)

*一時保護委託数(再掲)

② 児童編成(令和7年3月31日現在)

	3歳未満	未就学児	小学生	中学生	高校生	その他	合計
男	1	4	9	5	5	0	24
女	0	3	5	4	4	1	17
合計	0	7	14	9	9	1	41

③ 施設内委員会

環境委員会	子ども達が安全に生活できるように、施設内及び地域小規模・分園各ホームの点検等を行った。今後は、危険箇所や園庭における自転車の乗車範囲等の情報共有や周知徹底を図る。
子どもの権利委員会	子どもたちの生活の安心について、アンケートにて聴取した。大半は「特に相談することはない」との回答だったが、個別に相談したいという児童数名から個別聞き取りを実施。その中で、出た問題点や要望

	は、施設長より児童に説明した。今後は、児童がより意見を出しやすいように、アンケートの内容を変更し、回数も増やしていく。
性教育委員会	全年齢の児童を対象に「プライベートゾーンの理解」や「NO・GO・TELL」のワークを年齢や発達段階に応じグループ分けし実施した。子どもたちからは「知ってるー!」「プライベートゾーンでしょ」と知識としては定着している様子が見えてきた。また、初の試みとして、思春期女子を対象とした「望まない妊娠と避妊」についてのワークを行った。反応は様々だったが、性について安心して話せるような空気づくりが進んだ。
研修委員会	職員の経験年数に応じたグルーピング及び研修を企画・実施した。また、今年度新たに入社前研修と1年目研修を導入し、より実践的な内容となるよう工夫した。グルーピングでは、職員やホーム運営の負担軽減にも繋がった。記録システム導入に伴う研修では、各リーダーが講師を務めた。企画立案から準備・発表に至るまでの一連のプロセスを経験することで、伝える力や俯瞰的視点を養う機会となり、講師としての役割を通じて、自己の知識の再整理や育成意識の向上にも繋がった。
マニュアル委員会	地域小規模や分園の開設に合わせて、全面的に細かな部分の確認・修正作業を行った。また、ハラスメント防止規程の全面改訂に合わせて、ハラスメントの対応についても全面的に見直しを行った。プライバシーの保護については、現在の取り組みを各ホムリダーに確認しながら協議し、新たに追加した。

2. 児童の処遇について

(1) 園内生活について

子どもたちが、明るく、衛生的な環境の下で、心身ともに健やかに、安心して生活が送れるよう努めた。手洗い等が意識下に根付いており、子どもたち自身が衛生面を意識して生活できるようになった。休日等には、元気に外で遊び回るなど健康的に1年を過ごすことが出来た。

① 生活環境の整備

子どもたちの安全を確保し安全に生活できるように、環境委員会による施設内の環境整備・点検等を行った。研修棟の修繕塗装工事や男子棟にキッチン及び団欒室を整備し、子どもたちがより家庭的環境で生活できるように整備した。

② 保健・衛生

日頃から嘱託医と連携して、看護師が中心となりホーム担当と連絡を密に行い、病気の予防に努めるとともに、子どもたちの身体状況の把握や不調や訴えに即座の対応を心掛けた。毎日の手洗い等を習慣づけ、インフルエンザやコロナ、胃腸炎等の感染

症については、感染レベルに応じた対応が出来るよう体制を強化した。子どもたちが毎日使用する風呂やトイレ、洗面所等の掃除を子どもたちと一緒にやり、衛生的な管理に努めた。また、看護師が配置されたことで、子ども達の即座に対応できるようになった。

③ 給食

子どもたちの発育段階に適した安全で、変化に富み、栄養量を満たした給食を提供した。給食の在り方（献立、食器、設備、給食指導）を検討する職員による給食会議や子どもの意見や要望を給食に取り入れるためにアンケートを実施し、子どもと関係職員による給食委員会を開催し、給食の充実に取り組んだ。食の大切さを学び、将来の自立に向けて子どもたちと職員と一緒に調理実習を実施した。

④ 行事

行事の企画・運営に子どもたちの意見を積極的に取り入れることで、これまでの子どもたちが主体性を発揮できるように努めた。また、子どもと職員のコミュニケーションを図り、相互理解を深めるための園内スポーツ大会を開催し、一緒に汗を流して楽しい時間を過ごすことができた。近年、ホームごとの少人数単位で実施していたホーム旅行を、令和6年度は〈みどり園全体旅行〉として実施した。兄弟間や異年齢などホームを超えた交流を通して、チームみどり園としての一体感を高め、相互理解を深めると共に社会性を身につけることが出来た。

⑤ 地域との交流

コロナの影響で縮小傾向であった地域交流については、地域の方々との話し合いの場を持ち、新たな交流の形を検討した。夏祭りは地元校区の先生方を招待し開催することが出来た。新たな試みとして、年始行事のどんどこやを岩谷地区と協働で行うことが出来た。あませい楽校では、校区外の児童と触れ合う事で対人スキルを身につけることが出来た。清掃活動等の実施、年末の地域の一人暮らし世帯への山菜おこわ配布等実施した。パールラインマラソンは、希望する児童と職員が参加し、無事完走することが出来た。今年度の開催形式を基本として、様々な意見を出しながら、交流を進める。

(2) 自立支援について

豊かな人間性と自分でやろうとする意欲（主体性）を育て、将来の自立に向けた社会性を身につけるため、子どもたち一人ひとりの課題に応じた自立支援計画票を作成して支援に取り組んだ。また、研修棟を利用し、一人暮らしの練習や料理等子ども達の自立訓練を行った。

① 基本的な生活習慣の確立

一般家庭の生活日課等を参考にしながら、子どもたちの年齢や課題に応じた生活日課の見直しに取り組んだ。個々の事情や希望に沿った日課を送ることが出来るよう、子どもたちと職員とで話し合い取り組んだ。また、携帯電話やタブレットの導入等、現代の流れと子どもの思いに寄り添うことが出来るように約束事などの見直しを図った。これまで同様、学校との連絡を密にし、子どもの状況を把握するよう努めた。

② 社会適応能力の向上

例年、子どもたちの見聞を広げ、将来の自立に向けた社会適応能力の向上を図るため、公共交通機関を利用した社会見学や買物等を実施している。今後は、幅広い交通機関の利用や年齢に応じた社会見学の実施ができるように工夫したいと思う。

③ 家庭支援

早期の家庭復帰が可能と思われる子どもの保護者に対して、家庭環境の調整や必要に応じた支援に家庭支援専門相談員を中心に取り組んだ。児童相談所及び関係機関と連携して、事前の家庭訪問・面接・調査を十分に行い、子どもの最善の利益を守るため、慎重に対応した。

<実施状況>

- | | |
|--------|---|
| ① 対象児童 | 44名（3名アフターフォロー） |
| ② 支援内容 | ①児童相談所及び関係機関との調整
②保護者との調整
③保護者への相談・助言
④アフターフォロー
⑤アウトリーチ |

③ 支援の成果

今年度は、家庭との調整および相談対応を継続的に実施し、保護者の養育力向上や家族関係の修復に努めた。その結果、より良い親子関係の構築を目指す取り組みが進展し、11名の児童において家庭復帰に向けた段階的なステップを踏むことが出来た。

児童相談所との連携においては、年間を通じて家庭訪問を2件、合同面談を27回、援助指針会議を7回実施し、関係機関との連携を強化した。

また、卒園児に対しても、定期的な連絡や訪問などを通じて継続的な関わりを持ち、必要に応じて関係機関への情報提供を行うことで、個々の状況に応じた支援体制の調整を図ることが出来た。これにより、卒園後も安定した生活が送れるよう、継続的なフォローアップ体制を確保している。

④ 就学に向けた支援

子ども達の学習習慣の定着のため、帰園後の学習指導に全員で取り組んだ。また、個別に指導が必要な児童に対しては公文塾などの通塾やオンラインによる個別指導塾等を利用し、子どもがチャレンジ出来るような環境づくりを心掛け、基礎学力の向上を目指した。

⑤ 就労に向けた支援

働くことの大切さ、貴さを学ぶため、地元商店の協力を得て職場体験学習に取り組んだ。将来の職業選択の視野を広げ、適正に見るために、関係機関と連携して、アルバイトを行った。またお金の勉強などの研修会にも参加した。

⑥ 家庭生活体験事業の活用

例年、夏休みや冬休み等長期休暇を利用して、養育ボランティア（里親、ボランティア）の家庭に数日間宿泊している。この家庭生活体験を通して、本来の家庭のあるべ

き姿を理解することができるよう援助している。昨年度は中止となったが、今年度は実施することが出来た。

<実施状況>

実施期間	参加児童数	受け入れ家庭数
夏休み	2人	2軒
冬休み	2人	2軒
合計	4人	4軒

⑦ 個別支援

個々の児童の状況（不登校児、被虐待児等）に応じて、手厚い対応が取れるよう、個別対応職員を配置し、個々への支援がより個別化、多様化したものとなるよう努めた。不登校傾向だった児童を措置延長し、就労支援、退職後のケアを実施した。また、近年、他者とのコミュニケーションがうまく取れず、誤解を招いたり、トラブルにまで発展する児童が多く、児童間双方から話を聞き取り調整し、どうすれば、トラブルに発展しなかったのか振り返るといふ、個々の児童の状況に応じた個別支援を行った。

⑧ 心理療法について

虐待等による心的外傷のため心理療法を必要とする子どもに、遊戯療法やカウンセリング等の心理療法を実施し、子どもが安心感、安全感の再形成及び人間関係の修正等を図り、子どもが自立できるように支援した。

生活場面から少し離れた場所（心理療法室）で、定期的に心理療法士と1対1で過ごす中で、ありのままの自分を表現し受け入れられる機会を提供できた。全面的に心理療法的な支援を実施するだけでなく、心理療法室に足を運ぶことで日常生活の息抜きや、リラックスできる場になるよう、雰囲気作りにも努めた。また、昨年度に引き続き、心理療法室に留まらず、生活場面に出向き交流を図ることや、野外で共に運動や作業をすることで意図的に児童と時間を共有する機会を持った。これにより児童との関係性が深まることもあった。

今後の課題としては、自己研鑽はもちろんだが、他職種との連携を強化していきたい。心理療法は限られた時間の中で出来ることも限られている為、他職種職員との情報共有や協働がスムーズに実施されることで、よりよいケアが提供できると考える。

⑨ 里親支援について

今年度より宇城・宇土地域が追加で担当地域になり家庭訪問対応件数が増加し関係機関と連携しながらの里親宅家庭訪問対応となった。また、今年度も同様に周知啓発活動では天草市協力のもと天草こころすパネル展も実施し里親周知のご理解とご協力をお願いした。今年度新規登録者は宇城2世帯・宇土2世帯の方が新たに登録となった。

<令和6年度活動実績>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
里親の新規開拓	3	2	1	1	2	2	2	1	1	1	2	1	19
里親委託の推進				2	3						2	1	8
里親への研修(実習)			1	2		1	1	1	7	4			17
委託家庭訪問	5	4	3	2	7	4	1	1	3	2	3	5	38
未委託家庭訪問	3	1	1			1	4	1	2				13
里親会への参加			1	2			1	1	1				6

⑩ 地域小規模について

『いるかホーム』を本郷地区、今年度『いちごホーム』を上地区に移転し、開設している。地区子ども会等に積極的に参加しながら、ひとつ屋根の下、家庭的でよりきめ細やかなケアを行うことが出来た。また、手厚い個別での対応が可能となり、一人ひとりの課題に対し時間をかけて向き合うことができた。団欒や買物などを実施し、家庭に近い雰囲気が味わえるよう努めた。

⑪ 小規模グループケアについて

地域小規模と同様に、社会的養護が必要な子どもを可能な限り、家庭的な環境において安定した人間関係の下で育てることができるよう家庭的養護に実施する。施設内小規模2か所に加え、令和6年4月より分園型小規模GCみつばホームを開設した。

⑫ 職業指導員の配置について

今年度退所する児童が、退所後の自立生活に必要な力を身につけられるよう、園内での自立訓練をはじめ、社会資源を活用したり、関係機関と連携を図りながらリービングケアを実施した。また、措置延長児や、前年度退所した児童の定期訪問や連絡、通院同行などのアフターフォローを実施した。高校2年生以下の在園児童に関しては、早期から、自分の進路に対して意識づけができるように、B4Sが開催する勉強会への案内や進路相談などを実施した。

<実施状況>

1. 対象児童	在園児童：7名	退所児童：4名
2. 支援内容	①リービングケア ②アフターフォロー ③相談支援	
3. 支援の成果	今年度からの設置ということもあり、手探り状態で始動した支援活動であったが、今年度退所予定だった児童は、全員無事に就職までたどり着くことができた。アフターフォロー中の児童と共に、今後繋がりが途切れることがないように定期的に丁寧にフォローしていきたい。	

3. その他の事業内容

① 地域貢献について

地域の家庭が抱える子育ての悩みや DV 等の諸問題に、上天草市や関係機関との協議会を立ち上げ、地域福祉の推進に取り組んだ。また、地元上天草市の家庭相談員、児童民生員と連携して、要保護児童の早期発見に協力した。

<地域における子育て支援>

地域の子育て家庭支援のため、上天草市・天草市・宇城市・宇土市と子育て短期支援事業の受託契約を締結し、ショートステイ・トワイライトステイを受入れた。その実績はショートステイが延べ6人・11日、トワイライトステイが延べ10人・8日で合計が月別利用者数が延べ16人・利用日数が19日となっている。

<令和6年度実績>

事業名	月													合 計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ショートステイ	利用人数	1		1					1			2	1	6	
	利用日数	3		2					2			2	2	11	
トワイライトステイ	利用人数		3					1			6			10	
	利用日数		3					2			3			8	
合 計	利用日数	1	3	1				1		1	6		2	1	16
	利用人数	3	3	2				2		2	3		2	2	19

② 第三者評価について

国が進める第三者機関による福祉サービス評価制度を積極的に活用し、今年度第三者評価を受審した。結果をしっかりと受け止め、法人及び施設のさらなる向上に努める。

③ 職員の資質向上について

職員の専門性を高め、子どもたちの処遇向上を図るため、また、業務のマンネリ化を防ぎ、スキルアップを図るため、各種研修会に積極的に参加した。

④ 情報公開について

法令に則って施設の管理ならびに運営等の情報公開に努め、県民に理解される開かれた施設づくりに取り組んだ。各地域の児童民生委員会の視察を受け入れ、啓発活動を実施した。また、インスタグラムを開設し、児童や園の日常を投稿し、様々な方に興味を持ってもらうことが出来るようにした。

4. 施設の運営について

① 施設整備について

今年度、以下の通り施設整備を実施した。また、今後の施設整備について幅広く職員の意見を聴取するため、職員へアンケートを実施した。

<施設整備の実施状況>

- I. 児童一人ひとりの基礎情報や日々の記録(ケース記録・通院・面会記録等)、自立支援計画等をシステムに一元化する児童記録管理システムの導入。
- II. 研修棟雨漏り修繕塗装工事
- III. 施設全体の LED ライト取替工事
- IV. 男子棟小規模化整備(キッチン、団欒室等設置)
- V. 分園型みつばホーム外構工事

② 人材確保及び育成について

I. 人材の確保について

今般の学生の求職活動を鑑み、ホームページやSNS等を活用し求人活動を行った。実習や施設見学等を積極的な受け入れ等行ったが、人材の確保には至らず。今後の課題として、専門学校や大学に積極的に働きかけを行う等を通して、十分なみどり園の魅力の発信と専門学校や大学と継続的な交流が持てるように、積極的な働きかけや活動を行う必要がある。

II. 人材育成について

令和6年度も3名を新規採用した。新卒者や異業種あるいは同業種からの転職など様々であった。職員一人ひとりが、みどり園で働くことに誇りとやりがいを感じる事が出来るように、運営理念及び施設の基本方針の明確な理解を促した。また、研修委員会を中心とした園内研修において年間を通して専門性や実践力を向上することを目的とした研修会を実施したり、施設外の研修会に参加するなど、人材育成に取り組んだ。

III. 人材の定着について

人材の定着について、労働環境の向上に取り組んだ。具体的に、賃金の向上や、職員レクリエーションやお疲れ様会の実施等コミュニケーションの充実に取り組んだ。また、入職間もない職員に対しては、定期的に話を聞くなど孤立・不安に対する支援の充実を図った。今後の課題として、スーパーバイザー体制の確立や勤務年数やキャリア等に関係なく個々の職員が自由な発言・発想が出来るように、職員間の交流等を深め人材の定着に繋げたい。

③ 教育機関との連携状況

1 対象機関

- ・ ひまわりメソドこども園：6人

- ・ 登立小学校：14人 ・ 大矢野中学校：9人
- ・ 上天草高校：7人 ・ 松橋高等学校：1人
- ・ 鏡わかあゆ高等支援学校：1人

2 内容

- ① みどり園学校での生活状況について意見交換
- ② 保護者及び関係機関の動向について連絡
- ③ 子どもの問題行動等の対応についての協議

3 実施回数

- ① 登立小学校 年4回実施
- ② 大矢野中学校 年10回実施（問題が派生した時は随時実施）
- ③ 各種高等学校 高校の要請に応じて実施
- ④ ひまわりメソド こども園の要請に応じて実施

令和6年度主要行事、学校行事、養護協議会主催等参加報告書

月	施設行事	学校行事	養護協議会他主催行事	その他(児相・地域など)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付 ・花見 ・職員会議(毎月) ・避難訓練、点検(毎月) ・自立支援会議 ・プレ会議(毎月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・入学式 ・学校連絡会 小-隔月、中-毎月 ・実力テスト ・授業参観・ ・PTA・育友会総会 ・歓迎遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務担当者部会-総会 ・SW 部会-総会 ・CP部会-総会 ・CW 部会-代表者会 ・里専-定例会(毎月2回) ・行事委員会 ・親睦球技監督会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・援助指針会議(各児相) ・みどりの会交流
5	<ul style="list-style-type: none"> ・園内スポーツ ・理事会 ・園内職員研修(毎月) ・ケース会議(毎月) ・自立支援会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・体育大会 ・集団宿泊(中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長会議 ・CW 部会-総会 ・給食担当者部会-総会 ・親睦球技大会 ・施設親善ハレ・ホール大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩谷地区-子ども会
6	<ul style="list-style-type: none"> ・監査説明会 ・評議員会 ・健康診断 ・被服購入 ・清掃作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開き ・高校総体 ・中体連 ・中間テスト(中) ・期末考査(高) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務担当者部会-総会 ・夏季球技大会打合せ ・九州児童養護施設職員研究大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩谷地区-清掃作業 ・天青楽校(6~3月) ・みどりの会-七夕
7	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕 ・園にて学校連絡会(小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観学級懇談会 ・期末テスト ・学年行事(小) ・終業式 ・水泳記録会(小) ・海岸清掃(小・中) ・クラスマッチ(高) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長会議 ・SW 部会-定例会 ・CW 部会-代表者会 ・夏季球技大会 ・秋季スポーツ大会監督会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなと祭り ・地区懇談会 ・招待野球観戦 ・大湊地区-清掃作業 ・本郷地区-清掃作業 ・B4S 巣立ちセミナー →(毎月)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体験事業 ・家庭体験事業 ・ホーム旅行 ・園夏祭り ・合同研修会(小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校プール開放 ・三者面談(中3) ・進路確認(中、高) ・夏休み ・始業式(高等支援) ・PTA 作業(小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食担当者部会研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童個別面談(各児相)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・職員視察研修 →中止 ・自立支援会議 ・アドボカシー研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・実力テスト ・陸上記録会(小) ・のびっこ参観(小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季スポーツ大会審判講習 ・秋季親善スポーツ大会打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> ・援助指針会議(各児相)

月	施設行事	学校行事	養護協議会他主催行事	その他(児相・地域など)
10	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断(職員) ぴあ応援フェス 3歳児検診 絵本サークルピッピ 子どもアドボカシー説明 	<ul style="list-style-type: none"> 中間テスト 文化祭(中、高) のびっこ参観(小) 部会音楽会(小、中) 小修学旅行 	<ul style="list-style-type: none"> SW部会-研修会 CW部会-研修会 給食担当者部会-研修会 秋季スポーツ大会審判講習 施設親善ソフトホール大会 	<ul style="list-style-type: none"> 岩谷神社祭り
11	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ予防接種 七五三 被服購入 子どもアドボカシー 	<ul style="list-style-type: none"> 就学時健康診断 3者面談(中) 授業参観 上天草バザール 文化祭(高) のびっこフェスティバル 	<ul style="list-style-type: none"> 事務担当者部会-宿泊研修 CP部会-研修会 秋季親善スポーツ大会 	
12	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会 社会体験事業 家庭体験事業 大掃除 餅つき 理事会 子どもアドボカシー 	<ul style="list-style-type: none"> 期末テスト 中3三者面談 持久走大会 修学旅行(中) 駅伝大会(中) のびっこ祭り 終業式 冬休み 	<ul style="list-style-type: none"> 施設長会議 CW部会-代表者会 SW部会-定例会 性教育研修会 	<ul style="list-style-type: none"> Xmas プレゼント贈呈式 児童個別面談(各児相)
1	<ul style="list-style-type: none"> 元旦式 初詣 どんどこや 初登山 中止 子どもアドボカシー 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 実力テスト 修学旅行(高) 	<ul style="list-style-type: none"> 西ロータリー駅伝大会 フットサル監督会議 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 節分 ハレンタインチョコ作り テーブルマナー 卒園生外出 ホーム旅行 リゾラテラスご招待 子どもアドボカシー 	<ul style="list-style-type: none"> のびっこ参観 公立高校前期入試 授業参観・懇談会 PTA 総会 期末テスト(中) 	<ul style="list-style-type: none"> 事務担当者部会-総会 SW部会-総会 CP部会-総会 CW部会-総会・研修会 給食担当者部会-研修会 無料法律教室 親善ボーリング大会 卒園生壮行試合 グリーンフィールド杯 	<ul style="list-style-type: none"> みどりの会-お別れ会 上地区-子ども会 本郷地区-子ども会
3	<ul style="list-style-type: none"> ひなまつり ホワイトデー-お菓子作り 自立支援会議 子どもアドボカシー 理事会 テーブルマナー 卒園生お出かけ 卒園児お別れ式 	<ul style="list-style-type: none"> 期末テスト 公立高校後期入試 お別れ遠足 卒業式 修了式 春休み 退任式 	<ul style="list-style-type: none"> 施設長会議 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員料理教室 パールラインマラソン 援助指針会議(各児相)